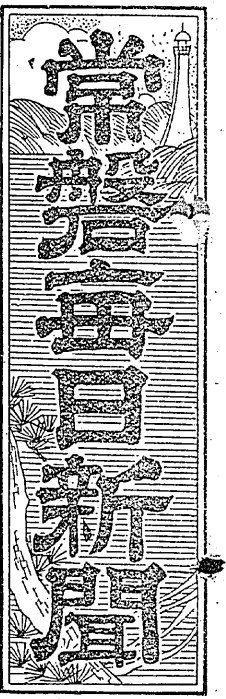


刊夕日二十月一十



定価一円... 発行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



廓然無聖

真繼雲山

佛道修行とは、たとへば峠を上下するやうなものである、その修行を志すこと無くして徒らに目前の名利を追ひ廻はしてゐる連中は...

峠の頂上に登り詰めて見た風味は如何ぞといふにそれが聖意皆空、廓然無聖の處である、常識的に考へて悟りの頂上とは定めし聖人の住所であらう、つまりは...

但し記者は、起寺造塔の功德なしといふのではない。斯くて悟りを尊貴とする...

二明日の献立二
【朝】わかめ じゃがいも みそ汁
【晝】亂切り蓮根 小口里芋 ごまあへ
【晩】ぼら いか ちくわせり くわのよせな

實のところ功德の有る無しは私の知つた話ではない、

同時を知るべき必要もない功德があるから造る報ひが無ければ造らぬといふの心事は悟境を距たることは...

菩提樹下に正覺を成就せられたときの釋尊は聖意皆空の頂上に立たれたのであるが山を下りて東奔西走せられた一化五十年こそ佛教の活現であつた、峠の頂上はさとの極處であり、里に出で酒肆魚行を化するは佛教の理想郷である、功德を考へざる起寺造塔も亦たこの一風景なりとする、

新製節魚

産名城磐
最優最 志平 大賀 日賀 本賀 生賀 命賀 平賀 代理 店榮
番三二電 目丁四

うなぎの御用命は 有難ふ御座ります 毎度御ひいき

木村病院

平新川町十九
電話一六四番
院長 木村寅次郎
産婦人科 内蔵外科 泌尿器科
婦人科 院 醫士 内 木 宗 八

移轉告知らせ

紅葉の色鮮やかな晩秋が訪れました弊店事罹災後は殊更に皆様の御同情御盡力によりまして丸新デパート内に假營業をいたして居りましたが今回後記の處へ移轉致し一層努力勉強いたすことになりました今後共相變らず御引立に預り度う存じます先は移轉の御挨拶少々御願ひまで。
昭和七年十一月
平町二丁目 (三幸堂跡)
根本時計店
主 根本 本 義 一
電話六〇七番

胃腸病妙藥

昔ハ料理ニ必ズ「シ、茸」ヲ用タリ今ハアマリ使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋ハ茸類ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家庭ニテ百多位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ

CAFE SEKAI

紅、そして青の灯の下に 美女のくむ緑酒を知らず御身よさらば来り召せ 吾が世界のハレムへ。
カエリ 音界
美しいのアアシス世界の麗女はいと久しく御身の來るを心して待てり...
六 四

特別融資を受け、

貸付固定を緩和

苦況切抜に狂奔の

石城産業諸組合

郡内産業の諸組合では組合員救済の爲めに支出した貸付金が極度に固定し資金運用上に非常な支障をきたした結果係員總出動で貸付金の回収に努める一方固定緩和策に就いて各組合ともそとと対策を進めた結果去る八日平町に開催した石城産業組合聯合部會の總會に於いて協議の結果現下の苦況切り抜けの爲め全國産業中央金庫並に縣支金庫から特別融資の貸付を要請する事と決定其の後關係方面に

山間部の特産

コンニャク出廻る

十數年來の好作と市場相場の強氣配
當業者大喜び

本郡上遠野、入遠野、田人等山間部の特産物蒟蒻は目下の處非常な好作で既に採取に着手してゐるが生玉一貫廿五錢から三十錢見當荒玉一駄(四十五貫)七十圓前後の豫想で種球も未だに取引はないが自然生物上物二十四貫、俵十圓前後の相場を唱へられてゐる此の蒟蒻に就いて本縣産品の優良製粉家田人村の油屋菊

と語つてゐた向同方部の自然生産球は土質關係十二

貫、俵十八俵で一駄四十五貫の製粉が出来程の良質で他縣産品とは比較出来な

い事は既に東都市場の試験に依つて證明されてゐるし相場も目下の所では可成の強氣配らしい

弓道大會

鐵道俱樂部で

平町鐵道俱樂部弓道部では來る廿日午前九時より鐵道弓道場に於いて弓道大會を催すが會費六十錢で一般の参加を望んで居る

長期勤続者表彰

石城教育部會總會

既報石城教育部會總會は明十三日午前十時から平第一小學校講堂で開催五ヶ年無勤続者、二十五ヶ年在職者等の表彰を行つた後高等師範學校教授佐々木秀一氏の講演會を催すが當日表彰される職員は左の如くである

- △五ヶ年無勤続 (平一) 鈴木康 上川恒平 坂内さの(平二) 先崎清(四倉) 長谷川友太(草野) 五十嵐新平(錦) 五十嵐とめ(湯本) 緒崎秀事(菊田實業) 吉田正愛(泉農業) 鈴木盛壽
- △二十五ヶ年在勤(大野第二) 荒川庸幸(小川) 富塚房吉(赤井二) 川隅英一(小名濱) 高木兼吉(四倉) 吉田茂(田人) 渡邊善吉(菊田實業) 吉田正愛

高久入營送別 石城郡高久村青年訓練所生は同村より今度入營すべき入營

平商校の 辯論大會

昨日舉行さる

既報平商業學校では昨日午前十時より講堂に於て係教諭及び委員審査の下に秋期辯論大會を開催したが入賞者は左の如く出演者は二十餘名にて頗る盛會であつた

- 一等(躍れ日本刀) 五年隈川幸夫 二年一年鹽澤友吉 三年四年四家肇 四年四年鈴木利治

労働者騒々

好問の匡救事業

石城郡好問村役場では目下失業業者匡救事業として同村好問川上流の河川改修に着手したが同工事には豫て同村役場に登録した失業業者千三百四名を當て、一日平均五十餘名を使用して居るが

算術研究教授

法人稅務研究總會

役員改選後懇親會

石城法人稅務研究會は十二日午前十時から平町平稅務署樓上に於いて開催郡内全法人代表者出席會長唯野署長の開辭に次いで稅務當局の指示研究事項を協議後副會長以下役員改選を行つたが當選役員は

- 副會長 山崎合名 幹事 磐城建物 片倉製絲 平製氷 植田水電 磐東銀行 高橋商會 萬年瓦 四倉運送 磐城水産 岡崎本店 鈴木木材 福島炭礦

既報石城郡各町村からの本年度入營壯丁は合計三百十五名でいづれも来る十二月下旬から明年一月頃迄に入營するので石城町村長支會

は十一日付を以つて

觀楓と句會

平窪石水庵で

高月句會では明十三日午前十一時より平窪村石水庵に於て觀楓會を兼ね秋季大會を行ふと

ヒロイモ

△白銀町一五坂本ナヲは去月三日白銀町地内で五圓紙幣一枚△堤ノ内二三深谷勝雄は十七日同地内で五圓紙幣一枚△紺屋町六六の渡邊マツは十七日同町内で三圓十錢在中の裏口一ヶ△月見町二七加藤忠三は十六日南町地内で現金八圓五十一錢△八幡小路五七小野シシは十八日同町内で一圓三十錢入裏口△樋樋小路二六廣澤ヨシエは廿六日同地内で五圓紙幣一枚△内郷村野野正一は廿六日同町地内で五圓紙幣一枚△研町四強口五郎は卅日平窪前で六圓四十七錢入り裏口一ヶ△平郵便局某係員は十一月二日局内で十圓紙幣一枚△研町七折笠磯吉は八日十五丁目地内で一圓十二錢入り裏口一ヶを各れも拾得平署に届出た

平職業紹介所報告
回人を求める方
△雜夫 二十五才 尋卒
月八圓(四倉町某)
△女中 二十才 尋卒 給

美味! 芳醇!

料面談(平町某)
△農夫 五十才 以下 委細面談(豊間村某)
△大工徒弟 十八才 尋卒 仕着小遣(神谷村某)
回職を求める方
△出前持 二十才 高卒 給料面談(平町某)
△雜夫 四十九才 無學 給料面談(平町某)
△活版工 高卒 給料面談(平町某)
△女事務員 十七才高女卒 給料面談(平町某)
△トラツク助手 二十五才 中卒 給料面談(茨城縣某)

宗正らひた

山崎合名會社
電話一

御仁慈の御下賜金拜受

児童の健康増進週間に 貧困児の給食資金として

感激する平町當局

貧困児童の給食資金として、長くも皇后陛下よりの御下賜金、金一封が今十二日縣當局を経て平町に授與されたので皇恩の厚さに感謝した青沼町長は、謹んで拜受したが此の御下賜金は来る十五日から一週間全国的に催される児童養進週間に際し貧困幼児の給食資金として御下賜遊ばされたものであり町當局では直ちに全町民から給食資金を募集して聖旨にこたへ奉る事に決定した。

呉服店の 白鼠收監

受取證を偽造 品代金を横領

石城郡植田町字町後四番地定次郎二男植田章(三)は本日平検事局に於て上田検事取調への上文書偽造行使詐欺罪として收監されたが事件の内容は右章が植田町某呉服店に雇はれ中受取書其他を偽造し品代金を横領し去る九日植田署に檢舉されたものであるが詳細は厳秘にされて居る。

偽の御大盡

平署に檢舉

石城郡江名町字南町飲食店

小名濱商港實現の 前途に光明現る

工費六十万増加さる 喜びの町會召集

淺野家が百萬圓の寄附拒絶を申出でその爲め遂に總工費二百四十餘萬圓にまで大削減を加へられた小名濱商港の修築工事は町當局の必死的猛運動と擧郡應援の甲斐あつたが昨十一日町對し新に六十餘萬圓を増額總額三百四萬圓を投じて一大商港の完成を期すべく明年年度豫算に編入経費増額案が來議會に提案される旨内報あつた、此の快報に接し久しく沈黙し切つてゐた同町一帯も俄に活氣溢れてゐる尙商港修築費中小名濱町の地元寄附は僅に五萬圓にしか過ぎず四倉港の如きは四十餘萬圓の工事に對し十一萬圓の地元寄附を出し

柿専門の 泥棒御用

前後數百貫

名産峰谷柿の出廻期にある昨今高久、鹿島、玉川等の各産地に柿泥棒横行頻々たる被害の届出があるのので平署で犯人嚴探中昨十一日午後六時頃鹿島村大字三澤地内四家與一方裏手柿林から柿十數貫を窃取逃走せん

明日のラジオ

十三日

報豫氣天
今晩は南西の風、曇り北西の風に、曇り明日は北西の風、曇り、すが次第に晴る

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇 演習 B K コドモ ナイクル
 - 後六、二五 英語講座「中等科」(四ノ三) 清野暢一郎
 - 後七、三〇 陸軍特別大演習 第二日 戦況 ニュース
 - 後八、〇〇 吹奏樂 陸軍 戸山學校軍樂隊
 - 後八、四〇 ラヂオドラマ「祖國の爲に」藤村秀夫野
- #### 明日の部
- 前七、三〇 陸軍特別大演習 第三日 大阪府泉北郡より中繼
 - 前九、三〇 子供の時間 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮 大塚淳

自轉車に衝突 玉川の青年が

石城郡玉川村大字大原居住道踏坑夫駒木根唯次(三九)は去る六日午後四時頃自宅附近で同村の岩井瀧藏の自轉車に衝突され顔面其他に全治二週間の打撲傷を負つた

市場に活氣なく 蜂谷柿漸落歩調

石城郡農會の斡旋で東京市場に多數の出荷を見てゐる地方の名産物蜂谷柿の取引相場は現在稍需要期を過ぎた爲め幾分下り氣味であるが本日農會に達した東京市場の相場によると去る六日までの一等品一箱一圓七十七錢、二等品一圓六十錢、三等品一圓三十錢が各れも一函十錢宛落相場を現出し、函十錢宛活氣なく相場は漸落歩調を辿るものと見ら

女給さんに 署長が訓示

平警察署では去る十日より十六日迄行はれつゝある健康増進週間の爲め本日午前九時より平署會議室に全町内の女給、酌婦等三百餘名を召集小田部署長自から健康増進に就いての講演を行つた

平裁判たより

石城郡江名町大字永崎字川畑六十二番地魚行商秋山常彌(三)同村大字中ノ作字川峯二十二番地魚行商中山貞四郎(三)同所字榎戸三十五番地魚行商吉田竹次郎(三)小名濱町字下明神町四十八番地能動車運轉手志賀春雄(三)の四名は去る八日午前十時頃平町四丁目飲食店高橋トシ方に於て花札を使用し賭博博奕をなし賭博罪として常彌は罰金四十圓貞三郎、竹次郎、春雄は名罰金二十圓

双葉郡幾世橋村大字柵鹽字中樹倉七十一番地齋藤石井浩(三)は去る八日禁漁區であり同村請戸川に於て「ヤス」を使用して鮭二尾を獲漁業法違反として罰金二十圓

同村大字北幾世橋字荒井三十一番地農伴場周雄(三)

平町人事

△宇都宮市西大寬町二五二三赤羽根武氏(三六)紺屋町二七松本シン(二七)

△茨城縣眞壁郡村田村字内淀一八二平寅男氏(三〇)大館三二渡邊リヨ(二二)

△白銀町十 丸山徳平氏長女勝代(一一)

- 前一〇、〇〇 宗教講話「宗教の社會的意義」宇野丹空
- 前一〇、四〇 講演「時局匡救と經濟統制」關西大學教授武田鼎一
- 前一、一〇 謠曲講座「謠曲の道しるべ」(四四)實演 金剛殿の解説池内信嘉
- 後〇、五〇 歌謡曲「新よりを戻して」外 唄新駒三枝老松外離子連中
- 後一、二〇 獨唱と室内樂 鈴木クワレルテット
- 後二、二〇 運動競技「慶應對明治ラグビー試合狀況」明治神宮外苑トラックより中繼
- 後一、五〇 能樂「通小町」寶生會能樂堂より中繼
- 後三、〇〇 映畫物語「吸血鬼」須田貞明 伴奏指揮 福田宗吉
- 後五、〇〇 講演「戰後所感」陸軍特別大演習 南軍司令官陸軍中將本庄繁北軍司令官陸軍大將南次郎
- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「尻尾のない四郎丸」東京放送童話劇協會
- 後六、三〇 趣味談座「斗藏山並其附近の傳説」加藤善喜
- 後七、三〇 講演「木衆切」藤田錦禮
- 後八、二五 俳諧 唄 黒澤三市 三味線 菅原藤一郎 外指揮 出口之助
- 後八、五〇 清元「田舎源氏露東明」古寺 清元巴祭太夫



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第九十八席 平手造酒

繁藏宅の密議
繁藏は庄助の顔に傷あるを見て

繁「庄助い、駄賃を貰つて来たな、それを見られては恥だと思つて今まで俺に知らせずに済ましてゐたか」
庄「へえさうござんす」

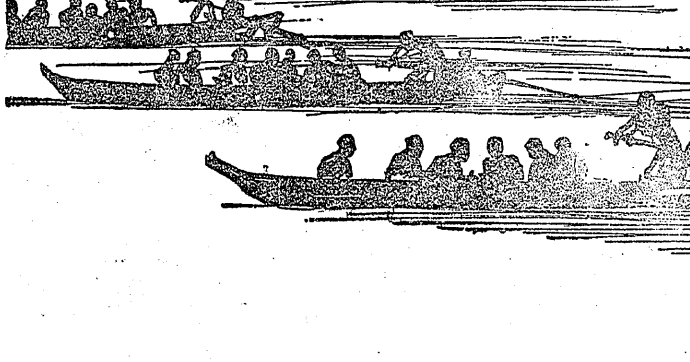
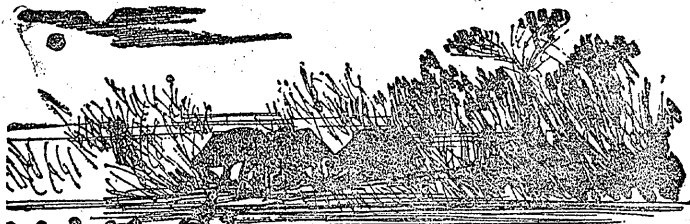
繁「それは悪い見だ、政吉がおれの縄張りへ手を入れたは先達て俺が太田の賭場を荒したその返報をする爲であらう、そこへ飛込んだは主の不仕合せだ、まあ、その内に汝の恥を雪いでやる傷の養生をしろ」
庄「へえ有難うござんす」

庄助は繁藏から十兩の金を貰つたが實に繁藏は大人であつた、斯う云ふ人の世話になつて居れば、よし金の事は第二としても、その優しい志に感じて死なうと云ふ氣にもなりません、庄助は行きと違つて大喜びで歸つて行く、是から四五日経つての事ですが、繁藏は勢力富五郎、憚りの勇吉、清瀧の佐吉を始めとして重立つたる子分を廿餘名集めたが平手造酒も加へ一室で相談を致しました

繁「倍一同助五郎と云ふは一旦兄弟になつたが、兎も

角彼奴は俺を睨んでゐる、それはお前方も知つての通り、岩松を八州の手で縛り上げ江戸に送り遂に彼奴は千住で獄門にかゝつた、それは悪事をしてゐるからさうなればとて怨む所もねえが八州の手で擧げさして置き

い仲になれねえ、そこで方から押寄せぬ中に此方から喧嘩を待たせようと思ふが、お前方はどう思ふ……」
是を聞いて一同はそれは親分よい所へ氣が付きました、何うしても助五郎とは美しく交はる事は出来ませぬ、一度は血を流すであらうと覺悟して居ります、早速喧嘩を待たせようが、早さいませうと勇み立つた、殊に平手は小膝を丁と打つて



れが出来ずとも笹川の威光を見せ付けて手出しのならぬやうにいたすが得策であらう、又兵は神速を以つてよしとすと申す教へもあり今宵直に押寄せざるがよい」と云ふと清瀧の佐吉が
佐「然し先生、助五郎は用心深い奴で常より四五十人の若い者を近くに住ませ、何ぞ事があるといつ等が飛出してすぐに腕貸をする事になつてゐるとか、そこへこの人数で押寄せるとは些無理のやうに思はれるが」
造「イヤ戦ひは兵は多少に依つて決するものではない一人心の一致する、所にある、飯岡に何百人居ればとて目指すは助五郎一人のみ我が一團になれば只一人の助五郎を討ち取る事、貴公は飯岡の子分などを敵の數に加へる故そのやうな事を申す又我々が乗込んだ時、子分どもが妨げ致さば拙者一人にてそいつ等を斬つてくれる、多勢を率ひて参るよりも小人數にて参る方が宜しい、それは指揮いたすのも行届く」

あはよく行けば悪黨を隠圍つて置いたと云ふ罪で俺まで繩をかけるつもりだつたさうだ、然し八州のお役人方の慈悲で俺の身は繩もかゝらず無事に済んだが、是等から考へると飯岡と俺とは水と魚と云ふやうな睦じ

乗すべき隙があれば上の威光を用ひて親分を捕へるであらう、さうなつては罪名を受け又今まで丹精して造り上げた縄張りも彼の爲に横領される、是等を思ふと今の内に喧嘩を待たせて助五郎を佛にするか、よしそ

れが出来ずとも笹川の威光を見せ付けて手出しのならぬやうにいたすが得策であらう、又兵は神速を以つてよしとすと申す教へもあり今宵直に押寄せざるがよい」と云ふと清瀧の佐吉が
佐「然し先生、助五郎は用心深い奴で常より四五十人の若い者を近くに住ませ、何ぞ事があるといつ等が飛出してすぐに腕貸をする事になつてゐるとか、そこへこの人数で押寄せるとは些無理のやうに思はれるが」
造「イヤ戦ひは兵は多少に依つて決するものではない一人心の一致する、所にある、飯岡に何百人居ればとて目指すは助五郎一人のみ我が一團になれば只一人の助五郎を討ち取る事、貴公は飯岡の子分などを敵の數に加へる故そのやうな事を申す又我々が乗込んだ時、子分どもが妨げ致さば拙者一人にてそいつ等を斬つてくれる、多勢を率ひて参るよりも小人數にて参る方が宜しい、それは指揮いたすのも行届く」
佐「なる程、これは先生の云ふ事が尤もだ、それでは今夜押しかけませう」
茲で評議一決してその夜四ツ頃舟を四艘仕立て笹川の河岸から乗移り利根川を下る、その同勢は二十人何れも甲斐々々しい支度して白木綿の袴をかけたは合印時は八月二十日月の光りは松明代り川を渡つて吹き來る風は水を注ぐやう、平手は澄み渡る月を仰いで

金銀

高價買入致します！

◎御修繕は

技術に絶対自信
を持つ弊店へ
ダイヤ堂

鈴木時計店
平驛前通り

●は切貨●
電話三四三番の
シサミ
昭和三十九年十一月三日

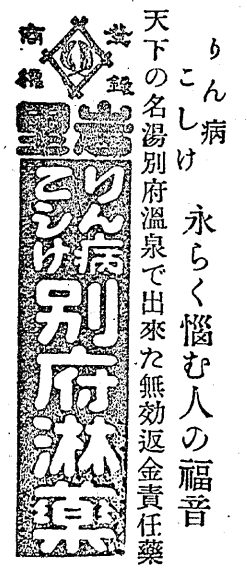
旅行カバンと毛布

御旅行と散策の秋が参りました。
馬鹿／＼しい最近の値上りを外に
格安品を豊富に取揃へました。
毛布と一枚物二枚續き等今が絶好の
お買時です……

平 四
ヤルツ
電一四〇

高級貨切……
不二タクシー

電・32



りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任薬
全園知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな
雑誌 推奨 い方がありませんか
右は岩里家古来よりの家傳秘法薬にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服
するも絶対胃腸傷害なき各業であります。
尚ほ此の薬は責任速効薬で二日内服して効なき時は
殘薬引換に全部異議なく返金します。
論より證據服した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性淋病は七日以上服差して下さい。
付前金申込者には送料無料、新品送薬す。
代金引換廿三銭手数料金納の事。
薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約 一 平町古鍛冶町一〇
手販賣 阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)